

## 令和4年度 事業報告

自 令和 4年 4月 1日  
至 令和 5年 3月 31日

新型コロナ感染症拡大に伴い、経済の回復が未だ見込めませんが、マスクの着用、手指の消毒など、感染対策を講じるとともにウイズコロナ、アフターコロナを見据え、徐々にではありますが、受注件数や契約額も回復の兆しが出てきました。また、新規で派遣の受注を契約することができました。

定時総会は3密対策を講じるため、最小人数による総会となりました。そのほかの事業についても、以前のように行えず、各委員会についても文書による会議など感染対策を講じたものとなりました。

ポストコロナの時代にあったニーズも開拓され、また、生産年齢人口の減少に伴う人手不足の解消として、高齢者や女性の存在も大きな影響がありますので、「新規入会者を増やす」と「退会者数を減らす」を車の両輪として会員を拡大することと、センターに適した就業の開拓を進めてまいりました。

このような状況の中で、令和4年度の契約金額（請負・委託、派遣）は前年度比5.6%の増加となりました。その内訳は、請負・委託のうち、公共（1.0%増）・民間（8.8%増）・家庭（6.2%減）、派遣（21.9%増）となっています。なお、就業実人員（派遣就業含む。）は117人となっています。

就業拡大には、福祉・介護分野も含め就業開拓も必要ですが、新規入会者数の減少や高齢化のほか、公共や企業の事業縮小などにより依然として難しい状況が続いています。

町と契約を結んでいる介護予防・日常生活支援総合事業のうち、通所型サービスである「ミニデイサービス事業」は、新型コロナ感染予防対策を講じながらの実施で、40回開催、延べ利用者289人（利用者数13名）で就業延人員は90人、そして訪問型サービスは、延べ利用者は247人（利用者数7名）となっています。

また、福祉有償運送事業は、就業会員4名で、利用者21名、延べ117回運行しました。しかし、短時間での依頼が多く、就業会員の高齢化等もあり、今後の課題となっています。

これらの事業を定着化させるには、引き続き町や関係機関と連携をとり制度の周知や利用者の増加を図る必要があると考えます。

今後、労働力の深刻な不足などにより生涯現役社会の実現のため、センターの役割

と期待は高まってくるものと思われませんが、企業の再雇用・定年延長も進んでおり、新規入会者の年齢と会員全体の平均年齢が上がってきている状況です。

当センターは、就業を希望する高齢者の要望に応えるべく、適正就業・安全就業を念頭に、「自主・自立」「共働・共助」を基本理念として健康で働く意欲のある高齢者に臨時的かつ短期的な就業を提供し、高齢者の能力活用、自らの生きがいの充実や社会参加等を指針として、業務のデジタル化も進め今後とも事業活動を行ってまいります。

○請負・委託業務

受注件数 (件)	会員数 (人)	就業実人員 (人)	延べ人員 (人)	契約金額 (円)
507 (604)	130 (134)	117 (117)	11,953 (12,094)	63,154,599 (60,687,485)

○派遣業務

受注件数 (件)		就業実人員 (人)	延べ人員 (人)	契約金額 (円)
12 (11)		11 (13)	1,028 (881)	7,087,795 (5,816,156)

※上段：令和4年度 下段（ ）：令和3年度

※請負・委託業務と派遣業務併せた就業実人員：122人

1. 就業機会の拡大

就業機会の拡大はシルバー人材センター事業の維持・発展に欠かせない事項です。当センターも会員の能力や希望に応じた仕事が提供できるよう就業機会の拡大を図っていますが、適正就業や安全就業などの面を考えるとなかなか難しい状況です。今後は派遣就業への切り替えやサービス業などの人手不足分野や育児等現役世代を支える分野へも拡大していく必要があると考えます。

就業については、令和4年度の契約金額の合計は70,242,394円で、前年度比で5.6%の増加となりました。増加の要因は、新型コロナウイルス感染対策を講じたことなどによる就業先の事業再開などのほか、新規の派遣業務の受注(校務員)や駐車場関連業務(民間)の受注などとなっています。

今後とも派遣就業の拡大、公共への就業機会の拡充を図り、多様な働き方を選択できるよう事業展開を進める必要があると考えます。

なお、ふるさと長瀬応援寄付金返礼品の一つである墓地清掃サービスについては、

5件ありましたが、4件は令和5年度にサービスを行う予定です。

## 2. 安全就業について

- (1) 安全委員会（安全就業推進員）での計画のもと安全就業を推進しました。  
また、安全就業意識を高めるため、事務所に無災害記録表を掲出しました。

月 日	活 動 状 況
4月	安全就業標語等の募集決定
4月	無災害記録表の掲出
6月	再発防止に向けた“ヒヤリハット事例”配布
9月13日	安全運転管理者講習会
9月27日	衛生管理者講習会
11月15日	安全委員会（中期計画策定会議）（書面）
11月 4日	安全就業研修（オンライン）
1月13日	安全祈願
1月30日	安全就業研修（オンライン）
会報での周知	会報ふれあいに安全就業・交通安全等の記事を掲載（12回）
随 時	職員による安全就業確認

- (2) 傷害及び賠償責任事故（保険対象となるもの）

①傷害事故（令和4年度に保険金の支払いをした事故） なし

②賠償責任事故（令和4年度に保険金の支払いをした事故）

発生日	作業内容	事故内容	状況
7月25日	除草作業	自動車窓ガラスの破損	刈払機で除草作業中、自動車に小石等が飛散し窓ガラスを破損

## 3. 会員の入会促進

各種イベントを通しての勧誘活動や会員・知人等からの紹介等により新規入会者を募りました。

その結果、令和4年度の新規入会者は7人でした。なお、会員紹介による入会者は3人でした。

- (1) 町等の主催事業において入会チラシを配布
- (2) 広報ふれあい特集号（毎戸配布）に入会募集記事を掲載
- (3) 町広報紙（令和4年10月号）に入会募集記事を掲載
- (4) 入会説明会（随時含む）の開催：参加者8人（うち入会申込者：7人）
- (5) 会員の状況（令和5年3月31日現在）

性別	入会数	退会数	年度末会員数	平均年齢	男女比率
男性	3	9	76人	74.4歳	58.5%
女性	4	2	54人	72.9歳	41.5%
計	7	11	130人	73.8歳	

#### 4. 適正就業の推進

シルバー人材センターは、企業・家庭・官公庁などから業務を受注し、それらを請負・委任、派遣、職業紹介の形態により、臨時的かつ短期的または軽易な就業を希望する高齢者（会員）に働く場として提供しています。（高齢者等の雇用の安定に関する法律第38条）

しかしながら、一般企業及び個人等は、センターが関係法令に基づいて請負・委任業務や派遣事業を行っていることに対する認知度がまだまだ低い状況です。

このような中、令和4年度も昨年度に引き続き適正就業ガイドライン（厚生労働省・全国シルバー人材センター事業協会作成）を、入会説明会時、総会時、役員改選後の理事会時での説明のほか、発注者様にも冊子等を活用し周知活動を行いました。

#### 5. 普及啓発の促進

- (1) 毎月発行のセンターの広報紙「ふれあい」の中でセンターの活動等の周知に努めました。
- (2) センターの広報紙「ふれあい・特集号（4月1日発行）」の中で、センターの活動状況等のほか、請負・委任業務、派遣業務についても周知しました。

#### 6. その他

- (1) 専門委員会活動報告
  - (ア) 安全委員会（5人）
  - (2. 安全就業について 再掲)

月 日	活 動 状 況
4月	安全就業標語等の募集決定
4月	無災害記録表の掲出
6月	再発防止に向けた“ヒヤリハット事例”配布
9月13日	安全運転管理者講習会
9月27日	衛生管理者講習会
11月15日	安全委員会（中期計画策定会議）（書面）
11月 4日	安全就業研修（オンライン）
1月13日	安全祈願
1月30日	安全就業研修（オンライン）
会報での周知	会報ふれあいに安全就業・交通安全等の記事を掲載（12回）
随 時	職員による安全就業確認

(イ) 事業部会（6人）

月 日	活 動 状 況
11月15日	安全委員会（中期計画策定会議）（書面）

(ウ) 総務部会（4人）

月 日	活 動 状 況
11月15日	安全委員会（中期計画策定会議）（書面）
1月20日 ～3月29日	広報ふれあい特集号(第12号)(4月1日発行)の編集作業 編集会議（1回）及び校正作業等（2回）

(2) 主なボランティア活動

生きがいつくりの充実や社会活動として、次のような活動に参加しました。

月日	内容	参加延人員
年間	花の里の除草・播種等作業	12人

参考

昭和63年 9月 1日 (1988年)	長瀬町生きがい事業団設立
平成 8年10月25日 (1996年)	社団法人長瀬町シルバー人材センター設立（許可）
平成24年 4月 1日 (2012年)	公益社団法人長瀬町シルバー人材センター移行

